

## 平成30年度第6回小金井市放課後子どもプラン運営委員会

日 時 平成31年2月14日(木) 午前10:00から11:30まで

場 所 前原暫定集会施設A会議室

出席者 田中委員長、浦野副委員長、志波委員、多田委員、大久保委員、本川委員、水谷委員、黒田委員、関生涯学習課長、菊池図書館長、鈴木児童青少年課長、伊藤コーディネーター、小岩コーディネーター、古源コーディネーター、森田コーディネーター、西田コーディネーター、伊野コーディネーター  
小堀生涯学習係長、吉楽生涯学習係主任

欠席者 石原委員、佐野委員、小林委員、鈴木副校長、西村公民館長、三浦庶務課長、浜田指導室長、梶野子育て支援課長、  
富沢コーディネーター、吉田コーディネーター、

傍聴者 2名

### 1 議 事

(1) 各小学校区の事業の進捗状況等について報告(コーディネーター)

【事務局】 一小では放課後子ども教室の見直し中。一小は居場所提供の教室がないので、現在PTAが取組んでいる図書室開放と相談中。

【二小】 予定通り実施している。来年度予は算状況により週4~5回でやれないか、推進委員会で検討中。

【三小】 順調に活動している。図書室開放が定着した。

【四小】 3学期も順調に開催している。来年度予定は今後推進委員会で検討する。

【東小】 予定通り順調に実施している。今後協議会、推進委員会を開催予定。

【前原小】 順調に実施している。猛暑や雨で中止が多かったため、来年度は中止時の代替案を検討していく。

【本町小】 火曜から金曜に週4回開催し、順調に実施している。

【事務局】 緑小は今年度中止することなく実施した。2学期末から新規開催した英語教室も順調で、新年度も継続予定。

【南小】 ほぼ予定通り実施している。

【実行委員会】 1月8日に第8回実行委員会を開催。新放課後子ども総合プラン。緊急時対応・不審者対応訓練では今年度予算で不審者対用のホイッスルを全校で購入。安全管理員研修。コーディネーター2人制等について検討。2月5日に第9回実行委員会を開催。コーディネーターの謝金対象業務の洗い出し。負担軽減と引き継ぎ円滑化のためコーディネーター2人制を検討、次年度は2校で実施予定。放課後子ども教室開催中の緊急対応で、子どもの利益を優先するため、保

健室利用等、協議会では学校との連携を深めてほしい等検討した。

【事務局】 実行委員会預かりについて。レッツ体操教室は今後3回開催予定。図書室開館は、今後数回開催予定。放課後カフェは、1月17日に抹茶体験、1月24日、2月7日にNPO法人らくビットと連携しラズパイのスクラッチ体験、3回合計で生徒127人が参加した。今後3回開催予定。

(2) 放課後子ども教室の進捗状況について

【事務局】 資料2に沿って説明。1～3月は集計中。12月までだと、開催回数、参加人数ともに、前年度と比べほぼ同じ数値となる。

【副委員長】 学童児童の参加人数を掲載してほしい。

【コーディネーター】 放課後カフェの執行率145%について、100%で留めてもらいたい。

【外部委員】 放課後カフェにはかなりのニーズがあるので、他中学校区で余った予算を柔軟に配分する等検討してほしい。

(3) 今後の放課後子ども教室の方針について

【事務局】 今後の小金井市放課後子ども教室の方針は、子ども達が放課後いつでも自由にいられる場所を目指し、教室の回数増に向けて条件整備に努めていく。条件整備とは、人材、場所、予算の確保であり、関係者と調整しながら進めていく。9小学校区でいきなり取り組んでいくのは難しいため、今後はモデル校を選定し、アンケート等で意見を伺い、検証を重ね、段階的に丁寧に取り組んでいく。中学校区の扱いについては、新放課後子ども総合プランで示された、共働き家庭等の小1の壁の打破、待機児童解消、全ての児童が放課後を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう学童と放課後子ども教室両事業の計画的な整備等を推進する、等示されている中で、教育委員会としては、今後、放課後子ども教室は児童の放課後の居場所作りを更に充実させることが優先課題と考え、中学校区は現状維持としながら、今後も様々な方の意見を伺い、調整しながら、丁寧に取り組んでいく。

【委員長】 今後の放課後の方針について、資料はないのか。

【外部委員】 中学校区は無償でやっている団体もあり、広げる方針だと思っていた。

【外部委員】 新総合プランの目標について、2018年度3月までに30万人増、2023年度までに30万人増、合計60万人増やす目標でいいか。

【内部委員】 その通り。

【外部委員】 小金井の場合学童は全入制だが、現実に入所率117%。今後子どもが増えるが、施設が増やせないで、入所率が高まる。見通しはどうか。

【内部委員】 学童も年々児童が増え続けると予測している中、施設は中々増やせない。あかね学童については来年度、仮称あかね第4、第5を増設する予定。児童館と併設した学童は児童館の部屋を借りて対応している。今後放課後子ども教室、学校と協力しながらやっていきたい。

【外部委員】 小金井は具体的に0歳児、1歳児等がそれぞれ何人いるか、それらを調べ、具体的数字で検討すべき。

【内部委員】 来年度のモデル校について、新年度の早い段階で話したい。

【外部委員】 タイムスケジュールを示せないか。

【外部委員】 モデル校選定について、何校で、内容は何をやるのか。また学童では、放課後子ども教室が充実していれば学童に入らなくてもいい、というような数字、ニーズがあるなら、それらを把握して計画を立てるべき。モデル校に選ばれなくても、方針に近づけていく努力は出来る。今後の計画をいつ頃示すのか。

【外部委員】 学童に何人、放課後子ども教室に何人等、どこに何人増やすのか、それを4年後までにこういう工程で行う、という数値目標をまず立て、イメージしやすいものを示してほしい。また、この会議では放課後子ども教室しか議論できないが、今後はもっと幅を広げ、デイサービス、障害児の放課後の居場所等、全体的に検討してほしい。

【コーディネーター】 放課後子ども教室の居場所を増やすということは、本来なら学童に入りたい児童の居場所を増やすために回数を増やさないということになり、責任が大きくなる等、放課後子ども教室の方針が大きく変わる。

【委員長】 国の方針は示されたが、小金井の方針がない。

【外部委員】 各校で放課後子ども教室の内容にばらつきがあるのが課題ということだが、ある程度市が条件を示すべきではないか。

【委員長】 今後の方針に数値的な裏付けが必要。例えば来年クラス数が増える学校があり、余裕教室はどの程度の確保ができるか等、検討資料がないと検討できない。4月には小金井の方針の資料を出してほしい。小金井は1歳児が一番多く、1歳時の入学時がピークになる。早めに方針を示してほしい。

#### (4) 協議会報告

【事務局】第3回協議会の内容を報告する。

#### 第三小学校区協議会報告

日時：2月1日（金）11時半から12時半 場所：学童①室、

参加者：副校長、生活指導主任、学童指導員、放課後コーディネーター、推進委員、児童青少年課主任、生涯学習課長、主任、

#### ① 放課後・学童・学校からスケジュール、空き教室報告

- ・ 協議会後の改善点、校庭開放の現状、学校へのお願い等の報告（学校だよりを放課後子ども教室に頂きたい、保護者会時に放課後子ども教室のPRをさせてほしい等）。
- ・ 放課後子ども教室開催中に児童が嘔吐したため、放課後スタッフが家まで連れて帰った。
- ・ 平成H31年度から学童増設工事を開始し、平成32年度完成予定。その他ジャングルジム等の工事予定報告があり、校庭利用に影響がでる。

#### ② 今後の放課後子ども教室の方針について（意見交換）

- ・ 児童数が増え、余裕教室の確保が難しい。
- ・ 放課後子ども教室は学校授業の支障にならない範囲で活動すべき。
- ・ 児童館は三小から遠く、集会施設は借りる手間が生じる等、放課後子ども教室での活用は難しい。
- ・ 回数を増やしたら放課後子ども教室に何人来るのか等、先にニーズ調査等をすべきではないか。
- ・ 学校区見直しも小金井市の課題ではないか。

#### 前原小学校区協議会報告（意見交換）

日時：1月25日（金）、10時半から11時半 場所：けやきルーム

参加者：副校長、学童指導員、放課後推進委員長、コーディネーター、児童青少年課長、主任、生涯学習課長、主任、

#### ① 放課後・学童・学校からスケジュール、空き教室報告

#### ② 不審者訓練について

- ・ 初の学童と放課後子ども教室での共同開催で、課題が見えた（経験不足、残った大人の対応、ビブス・笛等の活用、学校110番等）。

#### ③ 今後の放課後子ども教室の方針について

- ・ 余裕教室がない

- ・ 新総合プランは全国一律で、小金井市の実態にあわないのではないかと。
- ・ 回数を増やすニーズ等、精査すべきではないかと。

#### 本町小学校区協議会報告

日時：1月30日（水）、10時半から11時、 場所：校長室

参加者：校長、副校長、学童指導員、放課後コーディネーター、推進委員、児童青少年課長、主任、生涯学習課長、主任、

#### ① 今後の放課後子ども教室の方針について（意見交換）

- ・ 低学年は帰宅後参加の中、回数を増やしても参加に結びつかないのではないかと。
- ・ 学校は余裕教室がない。公民館、児童館等を使えないかと。
- ・ 児童数が増え、今後更に学校施設を貸しづらくなっていく。

**【外部委員】** 本町小の報告で低学年は帰宅後参加とあったが、直接参加できないのか。

**【事務局】** 低学年と高学年は終業時間が違う。例えば14時半は高学年はまだ授業中なので、余裕教室確保が難しい。もし確保できても放課後子ども教室を開催すると、声がうるさくて授業の支障になる。この問題は他校でも議論されている。

**【委員長】** 新総合プランの方針は、帰宅後参加ではなく、学校が終わったら即預かる。また保健室の開放や保護者の立場の人も協議会に入れることになっている。

**【コーディネーター】** 前原小協議会報告で、放課後子ども教室と学童で一緒にやるのは難しいという報告の補足について。前原小放課後子ども教室での学童の参加回数について、学童でプログラムがある日は校庭遊びに出られない。学童には学童の予定や目的があり、必ずしも放課後子ども教室とは合致しない。そういう意味で学童に100%参加するのは難しいという話だった。

#### (5) 協議会設置要綱改正案について

**【事務局】** 平成30年度当初は4校の名称を入れて要綱を作成したが、平成31年度から全9校で協議会を実施する予定なので、そのように変更した。また協議会の根拠等も、新総合プランが出たので、それに合わせて修正した。

**【委員長】** 新プランには保護者と規定されているが、そこはどう考えるのか。

**【内部委員】** メンバーは今のままで考えている。

【コーディネーター】放課後子ども教室運営側としては、保護者、子どもの声が伝わらない。アンケートを取っている学校もない。PTA、保護者等の意見を聞きたい。

【外部委員】子どもの意見表明権もある。検討して頂きたい。

【委員長】改正案は条件付きで了承した。

(7) その他

【事務局】資料5は2月14日以降の放課後子ども教室開催予定表。運営委員には見学に行っていたきたい。資料6は平成30年度第4回放課後子どもプラン運営委員会、第5回放課後子どもプラン運営委員会会議録。修正内容を反映したので、了承いただければホームページで公開させていただく。

【外部委員】会議録の要望で、発言者が委員、委員長、副委員長、コーディネーターだけでわかりづらい。以前は内部委員、外部委員と分けていた。

【コーディネーター】モデル校選定するのは決定事項か。何校か。事業内容は。

【内部委員】まずは1校選定する。事業内容は選定校が今やっている内容の範囲内で、調整しながらやっていく。

【コーディネーター】回数増は週に何回か。

【内部委員】平日週5日を目指している。

【コーディネーター】学童児童も参加できるのは条件に入っているか。

【内部委員】学童の子も含むすべての児童の居場所ということで、共通プログラムとして目指していく。

【外部委員】回数だけが方針なのか。中身は各学校の実情に沿った形でいいのか。

【内部委員】校庭開放や英語教室等、各校で積み上げたやり方を基本に増やしていく。場所、人材、謝礼等条件を整備しながら、協議、調整しながらやっていく。

【外部委員】新年度、モデル校について、それはいつどこでどのように公表するのか。

【内部委員】新年度に具体的な話をしていきたい。

【外部委員】予算は変わらずと言ったが、中学校区をやめるわけではないのか。

【内部委員】中学校区は平成31年度の予算措置において現状維持。予算は限られているが一定範囲内でやっていく。

【外部委員】配布物は事前配布にしていきたい。